

紙の使用および調達方針

パタゴニアの存在意義

「最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する」

パタゴニアのこの揺るぎないミッション・ステートメントは私たちのあらゆる行動の指針であり、もちろん紙の使用および調達にも適用されます。

パタゴニアはクライミング、サーフィン、スキー、フライフィッシング、トレイルランニングといったアウトドアでのアクティビティに最適なウェアを作っています。創設者のイヴォン・シュイナードをはじめ多数のパタゴニア社員がこれらのスポーツを実践しながらフィールドで長時間を過ごし、また世界各地を旅しています。それゆえ私たちにとって環境破壊は単なる抽象概念にとどまりません。私たちが元気にしてくれる場所が次々と破壊されるのを見ずから目撃してきたのです。私たちは環境破壊をくい止めるべく、ここにはすべて挙げられないほどさまざまな活動に取り組んできました。「[環境保護への行動](#)」ページよりパタゴニアの環境保護活動の詳細をぜひご覧ください。

無責任な林業について私たちが知っていること

私たちは紙をはじめとする林産物に関して、無責任な林業活動が地球の生物多様性を体系的に破壊している事実を痛切に把握していま



写真:ジム・リトル

す。木材会社にとって皆伐は、樹木を木材に加工するもっとも好都合で費用効率の高い方法です。世界中に広がる皆伐により野生の森林は破壊され、やがて跡地には管理が容易な樹木が何列にもわたって整然と植栽されることとなります。そしてそれらは往々にして非在来種の樹木です。私たちは木材会社が伐採用に張り巡らした何キロもの道路を通して、皆伐による土地の浸食が川を塞ぎ止めてしまっている状態を見てきました。人間や野生生物が依存する自然が大規模に破壊される姿を目のあたりにしている私たちは、水を蓄えたり酸素を作ったり、さらに気候変動の直接の原因である二酸化炭素を吸収したりという、直接目には映らない、けれども非常に重要な樹木の役割についても知っています

絶滅の危機に直面している森林を保護する重要性

地球に残された原生林、老生林、古木のほとんどは世界各地にある絶滅の危機に直面している森林に見られます。モンタナのグレート・ベア原生地域、ブリティッシュ・コロンビアのトンガス・フォレストとインランド・フォレスト、北米寒帯、シエラネバダの森林、チリのアレアセ・フォレストとアラウカリア・アラカニア・フォレストなどの原生林は、多様な生物や絶滅の危機に瀕した動植物の貴重な生息地です。もちろん大量の水と二酸化炭素を蓄える役割も果たしています。私たちはこれらかけがえのない森林をなんとかしてでも守らなければなりません。

責任を負う

パタゴニアのビジネスは自然界にさまざまな影響を与えています。衣料の製造は化学薬品や石油など、さまざまな天然資源を使うため、環境への負担は少なくありません。そこで私たちは環境への影響を最小限に抑えるために長年にわたりさまざまな取り組みを続けてきました。1992年には素材にリサイクルポリエステルを採用したウェアを発表し、1996年にはすべてのコットン製品をオーガニックコットンに切替えました。実行可能な限り環境への影響に配慮した製造方法を追求し、さらにビジネスにおける紙の使用が引き起こす悪影響も抑えようと努力しています。

パタゴニアでは通信販売事業もおこなっており、年間数百万部のカタログを発行しています。カタログには相当量の紙が使われます。紙の

使用量を削減したり、消費者から回収／リサイクルされた（PCR）パルプで作った紙を使用したりすることで地球の森林に与える悪影響を抑えることができます。また再生紙を積極的に購入することは、廃棄物リサイクル産業のサポートにつながります

紙は絶滅の危機に直面している森林に由来するバージンパルプで作られるべきではありません。パタゴニアでは森林管理協議会（FSC）の森林認証制度で認証された紙を使用しています。FSCは保護価値の高い森林や絶滅の危機に瀕した野生生物、北米先住民族の権利などをはじめ、重大な環境および社会的価値を保護するもっとも信頼性の高い森林認証制度です。



写真：バリー・テスマン

長年にわたって環境への深い懸念を抱きつづけている私たちは、紙の使用および調達の基準もカタログ業界随一です。とは言うものの、まだまだ改良の余地があり、改善を目指して取り組んでいます。そして、他企業の皆さまにもぜひ紙の使用についての再考をお願いいたします。自己認識と意思とこだわりがあれば、品質に妥協することなく顕著な改善を達成できるのです。

紙の選択順位

私たちが最優先に選ぶのは、技術的および環境的に可能な限りPCR原料（市中回収古紙）を最大限に含む紙です。2番目の選択は脱墨した製造段階における損紙から作った再生紙です。リサイクル原料100%の再生紙が調達できない場合は、絶滅の危機に直面している森林に由来するバージンパルプ未使用の紙を指定し、また森林管理協議会の認証を受けた紙を優先的に選びます。そして万が一使用している紙に絶滅の危機に直面している森林からのバージンパルプが含まれているのを確認した場合は、段階的に使用を中止します。

紙使用における3R

PCR原料をできるだけ多く含む紙の採用に加え、パタゴニアでは3つのRを実践しています。

Reduce（リデュース = 削減）

カタログは印刷の質を維持できる範囲で、できる限り重量の軽い紙に印刷しています。2002年に坪量約22.7キログラムの紙から坪量約20.4キログラムの紙に切替えました。品質はそのままで坪量を約10%削減することにより、2002年以降およそ1,170トンの紙を節約したことになります。これは直径15cm～20cm、高さ12メートルの木19,374本に相当します。

カタログ以外の紙の使用に関しては、まず社員は本当に紙が必要かどうかを検討します。これは森林保護のみならず経費の削減にもつながります。たとえばお客様宛のハガキはEメールで代用できます。またパタゴニア社内では日々の業務で電子掲示板、インターネット、PDF、Eメールを使用して紙の消費を削減しています。

Reuse（リユース = 再利用）

紙の両面使用を奨励しています。ベンチュラ本社では片面のみを使用した用紙「グッド・オン・ワン・サイド（GOOS）」の収集箱を設けています。GOOSはコピー機やプリンターのフィーダーに入れると問題がありますが、メモに使うには最適です。またアメリカ・ベンチュラにあるパタゴニア本社内のチャイルド・ケアセンターではGOOSを図画工作に使っています。郵送用の箱や封筒は社内各所の郵便センターに置いて何度も繰り返し使います。

Recycle（リサイクル = 再生）

事務用紙、雑誌、ペーパータオル、ボール紙などあらゆる紙／紙製品をリサイクルするよう社員に呼びかけています。各社員はデスクの下や近くにリサイクル箱を置き、箱がいっぱいになったら社内に効率よく配置された複数の大型リサイクル容器に中身を移します。日本支社の場合は、定期的リサイクル業者に収集を依頼しています。パタゴニアではゴミ箱は非常に小さく、部門によっては置いていない場合もあります。トイレにペーパータオルを使用しているパタゴニア本社では、PCR100%のペーパータオルを使用し、使用済みペーパータオルのリサイクル容器を設置しています。鎌倉にある日本支社のオフィスでは、パタゴニアをはじめ鎌倉市内で排出された雑古紙が原料となっているトイレトーパーパーを使うなどして、再生品の利用を促進しています。再生紙の購入は再生紙の普及を促進し、その結果入手の可能性が拡大し、やがてコストの削減にもつながります。

パタゴニアの紙使用の概要

カタログ

パタゴニアが購入する紙の85%はカタログに使われます。限られた製紙会社から購入しているので追跡が容易です。第一の仕入れ先であるNewPage社は、使用する紙のPCR比率を上げ、「絶滅の危機に直面していない、森林管理協議会認証済みのバージンパルプを使用する」という私たちの目標に非常に協力的です。



写真: シャーロット・オーバービー

本文には坪量約20.4キログラムでPCRパルプを30%含み、FSCのCoC認証(加工・流通過程の審査)を受け、バージンパルプが絶滅の危機に直面していない森林に由来する紙を使用しています。また製紙工場は印刷工場から240キロメートル以内にありま。表紙と裏表紙用の紙は坪量約45.4キログラムでPCRパルプを30%含み、FSCのCoC認証(加工・流通過程の審査)を受け、バージンパルプが絶滅の危機に直面していない森林に由来する紙を使用しています。

ちなみに、アメリカではリサイクルパルプを使用している出版社はほとんどありません。環境保護に積極的な会社では通常10~30%のPCRパルプを使用しています。ヨーロッパではPCR100%の用紙が調達できますが、パタゴニアが使うコーティング加工用紙の品質基準を満たさず、また長距離輸送は環境的マイナス面が大きいので意味を成しません。

環境上の利点

カタログにバージンパルプではなく再生紙を使用することにより、2010年度の1年間で次のような資源を節約しています。

計算された節約量	等価値
節約された木: 1,026トン	木 7,184本
節約されたエネルギー: 32億 BTU	家 36 屋分のエネルギー
削減された温室効果ガス: 1,077,491トン	車 98 台分
節約された水: 290 万ガロン	オリンピックサイズのプール 4 つ分

カタログ用紙を賢明に使う

PCRパルプの含有率が高い紙の使用に加え、あらゆる側面からカタログ用紙を適切に使うようにしています。しかるべき顧客を対象にカタログを送送することにより印刷部数を削減します。また印刷の質を維持できる範囲で、できる限りの重量の軽い紙を使っています。さらに製紙工場や印刷工場でもっとも紙を有効に使える判型を選んでいきます。カタログをインパクトのある大きさに断裁するために大量の紙を無駄にしている企業は数多くありますが、私たちはインパクトの強い写真や文章で他社のカタログとの差別化を図っています。印刷会社とも緊密に協力し合い、紙の無駄を最小限に抑える努力を続けています。

責任ある供給メーカーとの協力

製紙会社は重要なビジネスパートナーです。それゆえ製紙産業が経済的にも環境的にも健全であることが不可欠です。私たちは公明で前向きな企業、そして紙のライフサイクルを概観する環境保護団体が進歩的だとみなす企業とのビジネスを望んでいます。環境への影響を最小限に抑える製紙工場というコンセプトを快諾してくれる供給メーカーとの協力を目指して、以下の条件を提示しています。

- 1) 樹木、水、化学薬品、エネルギーなど資源の消費を最小限に抑える
- 2) 大気、水中、土壌への放出物を最小限に抑える
- 3) 脱墨設備、塩素使用を削減する技術、温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーシステムの導入など、環境への影響を抑える設備や技術に投資する

トラック輸送は効率が悪く、しかも多大な環境汚染を生み出します。パタゴニアは印刷工場に近い場所にある製紙工場を選び、トラック輸送への依存を軽減しています。

また環境パフォーマンス基準を取引印刷会社や販売会社にも適用し、FSCのCoC認証を受けた企業を優先して取引しています。

カタログ用紙の仕入れ先には上記の条件が適応しますが、紙監査ではパタゴニア社内で使用している数種類の紙製品が環境への配慮がまったくなされていない工場で製造されていることが明らかになりました。監査はこのような望ましくない企業の識別にも役立ちます。

またアメリカ本社ではパタゴニアがカタログの制作をはじめた当初から封筒を使用せず、カタログ本体に宛名ラベルを貼るかたちで、お客様へカタログを送っています。そして日本でも、2011年3月に発行される『Spring 2011』カタログより、封筒を使用せずに宛名ラベルと、カタログが配送中に開かないように封緘シールをとめるかたちでの発送を採用することにしました。これにより年間に使用していた封筒、約6.8トン相当の紙の消費を削減できるようになります。

ダンボール箱

通常お客様にお届けする商品は再生原料を含むプラスチック袋に入れて発送します。このプラスチック袋は100%リサイクル可能です。けれどもパタゴニア直営店や正規取扱店などへ大量の商品を出荷する際はダンボール箱を使います。紙監査ではダンボール箱の 카테고リーに欠点があることがわかりました。出荷用に購入するダンボール箱の約半数はPCR100%ですが、残りの半数は再生ダンボールが65%、そのうちPCRは35%に過ぎませんでした。

私たちはこの違いについて調査し、出来る限りPCRを多く含むダンボール箱を購入するよう仕入先業者と検討しています。けれども残念ながら、十分な強度を確保するためにはある程度のバージンパルプが必要です。バージンパルプを使用する限度として、絶滅の危機に直面する森林からは採取しないように依頼しています。

日本支社の通信販売部門で大量に使用している段ボールについても、より環境に配慮した紙を使用するために段ボール紙の調査を行っている最中です。

ハングタグ

製品についているハングタグは100%PCRパルプで作られています。

製品パッケージ

製品のパッケージにはほとんど紙は使われていませんが、使用する場合はPCRパルプ100%の紙を使います。直営店ではギフト用包装紙や箱の代わりに、製造過程における余剰生地で作った再利用可能なギフトバッグをご購入いただくようお客様におすすめしています。また、ご購入いただいた商品を入れる持ち帰り用の紙袋は必要とする方のみにお渡ししています。紙袋は丈夫でくり返し使える再生紙100% (PCR95%) です。日本の直営店では、製品が入荷する際に梱包されているLDPE (低密度ポリエチレン) 素材のプラスチック袋を再生した原料を含む、100%再生プラスチックのデポジット制袋を使用しています。

販促物

カタログに加え、ワークブック、直営店や展示会などで使用する販促物、レターヘッド、ブローシャーなどの制作に紙が使用されています。ほとんどの制作物には100%PCR紙の表示が印刷されています。表示の無いものに関しては、絶滅の危機に直面している森林からは採取しておらず、FSCの認証を受けている紙を選ぶようにしています。

事務用紙および衛生用紙

他の企業と同様に、パタゴニアでも付箋から大型コピー用紙まで、さまざまな事務用紙および衛生用紙を使用しています。これらは、在庫、価格、納期を考慮して広範囲にわたる業者から購入します。アメリカ、日本、ヨーロッパ支社がそれぞれ購入するため、これらの用紙の追跡は非常に困難です。最近の紙監査では、このカテゴリーに含まれる紙製品はリサイクル原料を一切含んでいないものからPCR100%のものまで多岐にわたることがわかりました。コピー用紙とプリンター用紙のほとんどがPCR100%で、全体的にはまずまずの結果となっていますが、未解決の問題もあり、また購入方法の改善も望まれるため、さらなる対策が必要です。

宣伝広告

雑誌等に広告を掲載するのも間接的な紙の消費です。パタゴニア本社では『Surfer』、『Surfer's Path』、『Alpinist』、『Climbing』をはじめ再生紙の利用を率先している雑誌に広告を出すようにしています。他誌とも手を組んで環境的に優れた用紙の選択に協力しています。


関心を高める

パタゴニアのミッション・ステートメントである「ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する」のとおり、私たちはお客様、ビジネスパートナー、同業者、出資者にも環境的に優れた紙を賢明に使うよう奨励したいと考えています。

- 競合企業、消費者、業界の仲間にパタゴニアの紙の選び方を伝える
- 広告を出す場合は再生紙を使用している出版物を優先的に選ぶ
- 紙の使用および調達方針を公表する
- お客様の間でカタログをまわし読みしていただき、最終的にはリサイクルしてもらうようカタログにメッセージを載せる
- リサイクル原料とFSC認証用紙の利用を促進する
- 生態系に影響を与えない紙の使用を自治体や企業に働きかけている非営利団体を支援する

今後の課題


これまでも述べた通り、私たちにはまだまだたくさんの課題が残されています。パタゴニアの環境基準を満たす紙製品を探すことはもちろん、給与の明細書や年金明細書、社内で使う伝票など、容易にペーパーレスにできるものが多々あります。パタゴニアはこれら認識済みの欠点をいち早く改善するよう取り組んでいます。



FSC
Mixed Sources
Product group from well-managed
forests, controlled sources and
recycled wood or fiber
Cert. no. SW-COC-1764
www.fsc.org
© 1996 Forest Stewardship Council

Paper Information

Printed in the USA. 本体は消費者から回収された古紙30%使用の再生紙FSC(森林管理協議会認証紙)、表紙は消費者から回収された古紙30%使用の再生紙(風力発電を利用して製造されたFSC認証紙)に印刷しています。



このカタログのご利用後はリサイクルにご協力ください。

役に立つリンク

以下はパタゴニアがサポートする森林資源保護団体のウェブサイトです。各団体は樹木を守る方法として賢明な紙の使用および調達を促進しています。森林管理協議会のサイト、環境防衛基金のサイト(再生紙利用のメリットを算出できます)へのリンク、また主な製紙供給メーカーもリストに挙げています。ぜひ参考にしてください。

Forest Stewardship Council: fsc.org (英語サイト)

Environmental Defense Fund: edf.org (英語サイト)

ForestEthics: forestethics.org (英語サイト)

Natural Resources Defense Council: nrdc.org (英語サイト)

Dogwood Alliance: dogwoodalliance.org (英語サイト)

NewPage: newpagecorp.com (英語サイト)

Mohawk Fine Papers: mohawkpaper.com (英語サイト)

New Leaf Paper: newleafpaper.com (英語サイト)

Strategic Paper Group: strategicpaper.com (英語サイト)

Xpedex: xpedex.com (英語サイト)

FSC ジャパン: <http://www.forsta.or.jp/fsc>

古紙問題市民行動ネットワーク: <http://homepage2.nifty.com/koshi-net>

熱帯林行動ネットワーク (JATAN): <http://www.jatan.org>

株式会社大川印刷: <http://www.ohkawa-inc.co.jp>

©2011 Patagonia, Inc